

## ★ 資源ステーションの閉鎖日について

資源ステーションは今年度から年末年始(12月29日～1月3日)に加え、毎月第3日曜日にも閉鎖します。閉鎖日に収集物を入口前に置くことは、厳にご遠慮ください。

## 《今年度これからの第3日曜日》

7月17日、8月21日、9月18日、10月16日、11月20日  
12月18日、1月15日、2月19日、3月19日

【問】松山総合支所市民係 ☎62-2611

## ★ ふるさとを語る茶話会の開催について

ふるさと松山を知るための茶話会を開催します。多くの皆さんのおいでをお待ちしています。

日時 8月6日(土) 午前10時～11時30分

場所 松山城址館

内容 「庄内地方の野鳥(森・里・川・海)について」

講師 一般社団法人 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会  
長船 裕紀 氏

申込 当日会場まで

費用 無料

【問】松山総合支所地域振興係 ☎62-2611



## ★ 松山文化伝承館 展示のお知らせ

◎写真展 Color Free

期間 8月21日(日)まで

内容 庄内の自然や人々の営みを映し出した、石垣弘一氏・柿崎弘志氏によるモノクロ写真展です。色彩をなくすことで際立つ松山地域を中心とした文化や民俗芸能(松山まつり、松山能、野外音楽祭)など、庄内の自然や文化の豊かさを再確認できる写真展です。

入館料(改訂しました)

一般400円/高校生280円/小中学生120円

開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)

【問】松山文化伝承館 ☎62-2632

## 松山子育て支援センター

## 7～8月の行事予定

日付	行事内容	申し込み
7/19(火)	身体計測&発育相談 10:00～11:30	7/4(月)から
7/21(木)	ぎゅっとサロン 10:00～11:00 受付9:30～	6/27(月)から ※申込先:「ぎゅっと」
7/26(火)	おたんじょう会 10:30～	7/11(月)から
8/2(火)	ひよっこ広場 「ノンタンの なつまつり」	7/19(火)から
8/9(火)	育児講座 「父母のための講座」	7/25(月)から
8/10(水)	くまくん防災	不要
8/16(火)	身体計測&発育相談 10:00～11:30	8/1(月)から
8/23(火)	おたんじょう会 10:30～	8/8(月)から
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事定員5組まで</li> <li>・育児講座は保健師さんとの共催事業です</li> </ul>		

【問】松山子育て支援センター ☎61-4821

## ★ いっぱ即売会のお知らせ

日時 7月30日(土) 午前10時～午後4時

場所 障がい福祉サービス事業所 いっぱ  
竹田字下川原201-5 (国道345号 飽海松山給油所から北方面 約200m先)

内容 いっぱ製品20%OFF(山野草、陶芸品、木工品)  
※地元の方の協賛を予定しています。

【問】障がい福祉サービス事業所 いっぱ

☎28-8030 担当:後藤

★ 佐藤公紀氏 美人画絵灯籠の展示について



松山地区出身の美人画家、佐藤公紀氏の美人画絵灯籠を展示します。雰囲気の違い、日中と夜の絵灯籠をご覧ください。

**期間** 8月11日(木・祝)～20日(土)

**点灯時間** 午後7時～9時

**場所** 松嶺地区 上堰周辺

**【問】**松山総合支所内 松山地域観光物産事業実行委員会

TEL 62-2611

8月 松山地域カレンダー

1(月)	交通安全早朝一斉街頭指導 (各地区)7:30～
11(木・祝)	絵灯籠まつり～20日(土)
19(金)	交通安全早朝一斉街頭指導 (各地区)7:30～

松山地区の世帯数・人口

令和4年 6月 30日現在

世帯数： 1,547 世帯 (前月比 -1 )

人口： 3,782 人 (前月比 -11 )

男性 1,791 人・女性 1,991 人



〈健康・福祉の窓〉

**熱中症を予防しましょう**



暑い日が続くようになり、熱中症が心配される毎日です。しっかり対策をとって、元気に夏を過ごしましょう。

**○熱中症予防のポイント**

- ・ のどが渇いていなくても水分をこまめにとる
- ・ エアコンや扇風機で温度を調節する
- ・ 風通しのよい服装、日傘や帽子を着用する
- ・ 遮光カーテン、すだれや打ち水を利用する
- ・ 炎天下のときや気温が高い時間帯は外出を控える
- ・ 寝不足や二日酔い、風邪や下痢などの体調不良の日は無理せず休む



熱中症は、まず予防することが大切です。熱中症にかかる人の約半数は65歳以上の高齢者といわれています。その理由は、暑さや水分不足に対する感覚機能の低下や、暑さへの調整機能が低下しているためといわれています。また、小さなお子さんも、体温調節機能が十分発達していないため、注意が必要です。

熱中症の初期症状として、めまいや立ちくらみ、筋肉痛などがあります。さらに症状が進むと、頭痛や吐き気、体のだるさなどを感じることがあります。重い症状になると、意識がなくなったり、けいれんを引き起こすこともあります。

万が一、熱中症かなと思ったら、まずは涼しい場所へ移動して、衣服を緩めて体を冷やします。足の付け根やわきの下などを冷やすと効果的です。そして、経口補水液などで水分、塩分補給を行います。もしも、意識がない、自分で水分をとることができない、受け答えが難しい状況の時には、ためらわずに救急車を要請しましょう。

**【問】**松山総合支所健康福祉係 TEL 62-2611

